

ドメニカ・レガッツォーニ（ベッラーノ LC、1953）

彼女は70年代初頭に絵を描き始めました。90年代以降、彼女はより抽象的で非公式なアプローチのために比喩的な絵画を放棄してきました。

1992年、ヴァンニ・シェイウィラー・カント・セグレットの金色の魚の旗の下にあるネックレスのために、彼女はアントニア・ポッツィの詩集を描きました。

1996年、有名な作詞家 Mogol の最も詩的な歌に触発されて、彼女は展覧会 **ColoreIncanto**（トリノの Paola Gribaudo が編集したカタログ）を作成しました。

1997年、彼女はミラノの **GalleriaBlu** が創立40周年を祝うために主催した **LiberoBlu** コンペティションのアーティストの中から選ばれました。1997年には東京の銀座のセンターポイントギャラリーにも出展し、2000年には詩俳句（ウィーンの編集者カタログ、ミラノ）に捧げられた展覧会で帰国しました。

1998年、ルーチョ・ダッラの歌の歌詞に触発されて、彼女は絵画、音楽、詩の出会いの場を見つけることを目的とした研究を続けました。彼女は、2000年にローマのヴィットリアーノコンプレックスで、2001年にボローニャの旧サンマティア教会でブルーギャラリーとレガッツォーニ&ダラ展と共同で、ミラノのフォンダツィオーネステリーヌでコササラ展を開催しました（シルビアエヴァンジェリスティによってキュレーションされました）。

2003年、1900年代後半から有名なロンバード弦楽器製作者である父親のダンテレガッツォーニ（1916-1999）の死後、彼女は彫刻に近づきました。

彼女は巡回展 **Dallegno al suono**（Gillo Dorfles が編集した **Skira** カタログ）を作成し、フィレンツェのヴェッキオ宮殿のサラダルム（2003）、ミラノのダルヴェルメ劇場（2004）、ヴィラマンゾーニなどの有名な会場で展示されました。レッコ（2005）、ローマのオーディトリウムパルコデッラムジカ（2006）。

ヴァイオリン製作の世界に触発された展覧会は、2007年にミラノのボッコーニ大学でドメニコ・モンタルトによってキュレーションされたスパルティート・デル・ソーニョで、2008年にボローニャの国際音楽博物館での展覧会 **Scolpire la musica**（マルティナ編集の **Skira** カタログ コルニャーティ）。同年、京都の宮脇ギャラリーで個展を開催。

2007年から、彼女はジョルジオ・ウピリオの印刷所で彫刻の分野で働き始め、2013年まで彼の死の年まで協力しました。

2012年、彼女は偉大な写真家 **Gabriele Basilico** と共同で、ミラノのギャラリーで展覧会 **La fabbricaelacittà** を立ち上げました。同年、上海のイタリア上海センター（EXPO 2010の旧イタリア館）とストラスブールの欧州議会北ギャラリーで個展が開催されました。

翌年、彼女は上海の同済大学での展示会で中国に戻った。2015年6月、ミラノエキスポインシッタのイニシアチブのために、中国のパピリオンと上海国際協会と協力して、彼女は彫刻家の **Lu Zhiping**（Allemandi カタログ、トリノ、Ivan Quaroni 編集）と一緒に **Palazzo dellaPermanente** で **ParallelConvergences** 展を開催しました。

2020年3月、彼女はボローニャ市とフォンダツィオーネダッラに招待され、アックルシオ宮殿のサラデルコールでシルビアエヴァンジェリスティによってキュレーションされたドメニカレガッツォーニとルシオダッラ4マニの展示会を開催しました。2021年2月、再びボローニャの美術評論家によってキュレーションされた彼女は、シルヴァーナエディトリアルのために、古代日本の詩に触発された24のオリジナルイラストを含む本「俳句」を出版しました。詩的な歌は、トリノのアルベルティーナアカデミーのコレクションの一部になっています。

2009年以来、彼の大きな彫刻の1つである壊れたヴァイオリンは、ブカレスト大学の広場に恒久的に置かれています。その他の恒久的なインスタレーションは、ミラノ県のセグ

ラーテにあるサンフランチェスコ広場と、ミラノの本部の前にあるヴァルサッシーナ (LC) のバルツィオにあります。